

第5期雄武町総合計画 前期実施計画書 兼 事務事業事後評価調書

No. 1001042

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 事業期間 平成24年度～平成25年度 ・事業費 6,800千円 ・事業内容(町道中央線、町道幸海線) H24 L=146.9m C=3,500千円 H25 L=160.0m C=3,300千円
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	B	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	町道防護柵改修事業	見直し年度		
事業期間	平成24年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	改修延長		#N/A	
事業目標	L=146.9m	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	2	関係例規・法令名	⇒	
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 20 年度 事業内容	平成 21 年度 事業内容	平成 22 年度 事業内容	平成 23 年度 事業内容	平成 24 年度 事業内容	
計 画 内 容	・改修延長 L=146.9m					・改修延長 L=146.9m	
計 画 事 業 費	事業費(千円)	3,500	0	0	0	3,500	
財 源 内 訳	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
	一般財源	3,500				3,500	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	3,392	0	0	0	3,392	
関 連 事 項	(特定財源の詳細等) 【評価・実績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・改修延長 L=146.9m	
		※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
		第4期総合計画関連 (継続無し)	年度目標値				L=146.9m
		年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	97%
	事業進捗状況					☆☆☆☆	

事業名	町道防護柵改修事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	佐竹邦夫
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	防護柵改修延長
【抱える課題やニーズは】	歩行者の安全性。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	道路利用者の安全な通行の確保。	① 防護柵改修延長/防護柵改修延長の実績	目標年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	安全な通行が確保される。		目標値
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①民間業者による工事の実施	入札により、民間業者に工事を発注し、防護柵の改修を実施した。	実績値
			達成度
			100.0 %
			②
			目標年度
			目標値
			実績値
			達成度
			#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町道に設置されている防護柵の改修を行うことは、町が担う必要がある。
必要/概ね必要/課題あり	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、安全な通行の確保が図られた。
有効/概ね有効/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	本事業を実施したことで、安全な通行が確保されたことは、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的/課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

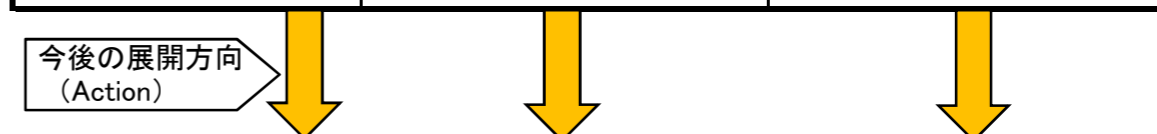
公平	判断の理由	防護柵の改修を実施したことにより安全な通行の確保が図られたことは、公平であると判断する。
公平/概ね公平/公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

A: 計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
 B: ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
 C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
 D: 事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
歩行者の安全な通行の確保のためには、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
歩行者の安全な通行の確保のためには、継続、現状維持が適当であると判断する。		

※展開方向の区分
 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 終了 休止 廃止